

研究機関名	国立研究開発法人海洋研究開発機構				
プログラム名	いのちをつなぐプログラム：3Dデジタル技術で地震津波災害の記録を未来へ残そう！				
先生(代表者)	谷川 亘(たにかわわたる)・高知コア研究所・主任研究員				
自己紹介	これまで「ちきゅう」と呼ばれる大型研究船で採取した岩石を分析して地震の発生する仕組みを調べてきました。2011年の巨大地震(東日本大震災)が発生した時に、その船に乗船していて津波に襲われました。この体験を通じて、過去に発生した地震災害の記録と教訓を伝える大切さを学びました。そして、その経験から、このプログラムは誕生しました。				
開催日時・募集対象	2020年 11月 14日(土)	受講対象者	小学 5・6 年生 中学生	募集人数	15 名
集合場所・時間	竜串ビジターセンターうみのわ前		(集合時間)	9:00	
開催会場	足摺宇和海国立公園竜串ビジターセンターうみのわ・レクチャールーム 住所:〒787-0450 高知県土佐清水市三崎字今芝 4032-2 アクセスマップ URL: https://tosashimizu-geo.jp/uminowa/				
内 容					
わたしたちの祖先は、過去に起きた大地震や台風による災害を伝えるために、巨大な石に文字を彫って記録を残しました。しかしその碑は長年の風化でダメージを受けて、文字が読めなくなりつつあります。そこで、3Dデジタル技術を用いて、文字を読みやすくして蘇らせた碑を保存する試みが行われています。このプログラムでは、実際の碑から過去に発生した大災害を知り、災害の記録を未来へ残す最先端の取り組みを学習・体験します。					
持ち物			特記事項		
筆記用具			開催会場までの送迎は保護者が責任を持って行ってください。 野外に出て実際の石碑を観察するため、日よけ・虫よけなどできる装備・服装でお越しください。 昼食・飲料は会場でご用意します(弁当の準備は不要です)。 バス移動があるため、乗り物に酔いやすい場合は各自で酔い止めを用意してください。		



スケジュール

9:00～9:30	受付(集合場所:竜串ビジターセンターうみのわ前)
9:30～9:50	開会式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)
9:50～10:20	講義①「地震津波碑からわかる南海トラフ地震」(講師:谷川)(終了後10分休憩)
10:30～10:55	三崎十字橋碑にバスで移動(講義①補足「水害碑からわかる過去の水害の被害」)
10:55～11:25	三崎十字橋碑の見学、および三崎浦震災供養石仏に移動(徒歩5分)
11:25～12:15	実習①震災供養石仏の観察と3Dモデル作成のための画像撮影(講師:井若ほか)
12:15～12:40	土佐清水市立中央公民館にバスで移動(講義①補足「ユニークな災害碑の紹介」)
12:40～13:40	昼食、休憩
13:40～14:10	講義②「3Dモデルと3Dプリンタの原理と研究への活用」(講師:浦本)
14:10～16:00	実習②3Dモデル作成と3Dプリンタによる複製作成(講師:谷川)(途中10分休憩)
16:00～17:00	実習③3Dモデルを活用した自然災害ロールプレイング(講師:井若ほか)
17:00～17:30	修了式(未来博士号授与、アンケート記入)
17:30	終了・解散

※雨天決行:雨天時は実習①の一部の作業を室内で実施します。

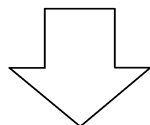
課題番号	20HT0112	分野	自然・歴史	キーワード	自然災害、地震、水害、文化財
------	----------	----	-------	-------	----------------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	国立研究開発法人海洋研究開発機構・高知コア研究所 谷川亘（たにかわわたる）
住 所	〒783-8502高知県南国市物部乙200
T E L 番 号	088-878-2203
F A X 番 号	088-878-2192
E - m a i l	tanikawa@jamstec.go.jp
申込締切日	2020年11月1日（日）
※当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2015年度～ 2016年度	挑戦的萌芽研究	15K12487	三次元形状復元技術による南海地震津波碑の判読：歴史地震研究と防災教育への活用



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000070435840>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。